

ロンドン、2021年11月18日

ベルギー、アペラム社ヘンク製鉄所向け AOD 転炉ライン新設と既存ライン更新を受注

- 炉体の自動交換により安全性が向上
- 操業コストの削減
- 熱回収機能を備えた除塵システムが環境負荷を低減

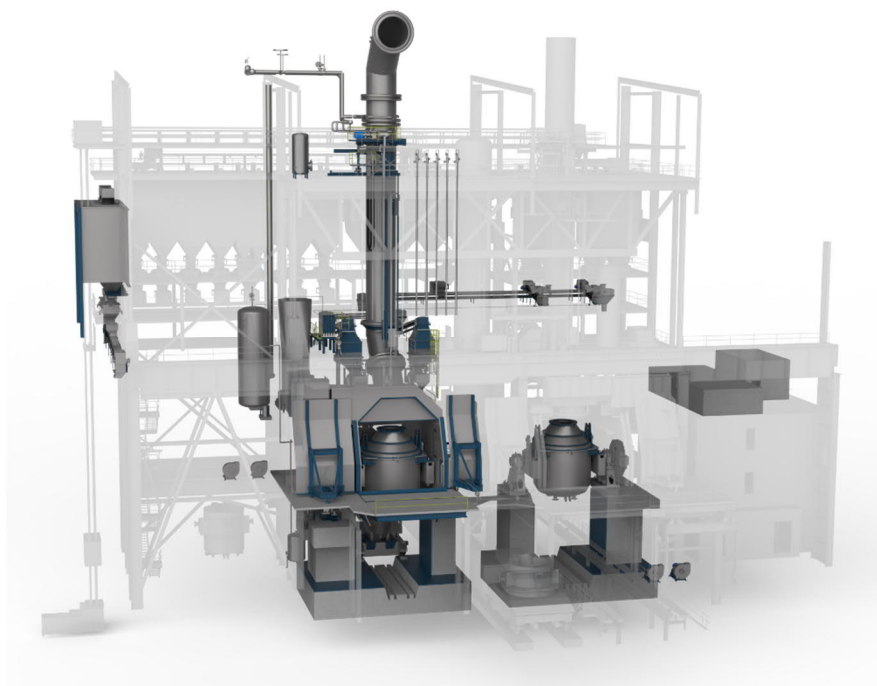
プライメタルズテクノロジーズ (Primetals Technologies) は、ベルギー、アペラム社ヘンク製鉄所 (Aperam Genk) より、操業上の安全性とコストの改善と、熱回収機能を備えた除塵システムによる環境負荷の低減を目的とした、AOD 転炉ライン新設と既存 1 号機ラインの更新工事を受注しました。オーストリアの建設会社 SGS Industrial Service も参加するこのプロジェクトで当社は機械設備、電気設備およびオートメーション、補助設備を担当します。運転開始は 2023 年半ばの予定です。

アペラム社はヨーロッパとブラジルに 6 カ所の生産拠点を有し、広範な用途のステンレス平鋼板製品を年間 250 万トン生産しています。同社はアムステルダム、パリおよびルクセンブルクの証券取引場に上場。ヨーロッパにおけるステンレス鋼の主な生産拠点は、ベルギーのシャトレーとヘンク、フランスのグーニョンとイスベルクで、ヘンク製鉄所では、最大 45 トンの AISI グレード 300 番台と 400 番台の熱延および冷延コイルを生産しています。操業中の AOD 1 号ラインは、当社が 2002 年に納入したものです。

新設する 2 号機ラインで当社が設計し納入するのは、1 次および 2 次除塵システム、トランスファーカー、電気設備、高度なプロセスモデルを含むレベル 1 および 2 のオートメーション、レールクレーンです。また、既存の MATERIAL HANDLING の拡張も行います。この新ラインは振動負荷を低減し機器の寿命を延ばすバイコン (Vacon) ドライブダンパーを装備しています。既存の 1 号機ラインは、トラニオンリングとプロセスガスバルブステーションを新替えし、レベル 2 プロセスモデルを更新します。

1号機と2号機に導入する新しいトラニオンリングはバイコンオートフィクス（Vaicon Autofix）炉体サスペンションシステムを実装しているため、手動で炉体を直す必要がありません。

両 AOD ラインに搭載されるレベル 2 オートメーションシステムは新型のプロセスモデルを備え、コスト効率の良い最高精度のダイナミックプロセスコントロールを可能にします。また、予知保全を可能にする状態監視ソリューションも備えます。新設の 2 号機ラインはブラウンフィールドに建設されるため、ダウンタイムや進行中の生産への影響を最小限に抑えるよう、設置手順は詳細に計画されます。



既設ステンレスプラントに建設される AOD 2 号機転炉

他言語（英語・ドイツ語・中国語・ポルトガル語・ロシア語）による（プレスリリース及び資料は、以下の URL よりご覧になれます。 www.primetals.com/press/

報道関係お問い合わせ先:

プライメタルズ テクノロジーズ ジャパン株式会社 社長室（広報担当：山下）

〒733-8553 広島市西区観音新町四丁目 6-22 三菱重工業（株）広島製作所内

電話 082-291-2181

プライメタルズ テクノロジーズ 公式ツイッター: twitter.com/primetals

プライメタルズ テクノロジーズ (Primetals Technologies, Limited) は本社を英国・ロンドンに置き、金属鉄鋼産業におけるエンジニアリング、プラント建設、およびライフサイクルサービスの提供を行うパイオニアかつ世界的リーダーです。当社は電機、オートメーション、デジタルイゼーション、及び環境の総合ソリューションを含めた技術、製品、サービスの一式を提供しており、原材料から完成品まで鉄鋼のあらゆる分野を網羅するだけでなく、非鉄分野でも最新の圧延ソリューションをお届けします。当社は三菱重工およびパートナーの出資によるグループ会社で、従業員数は全世界で約7,000人です。詳しくは、下記 URL より当社公式ウェブサイトをご覧ください。

公式ウェブサイト: <https://www.primetals.com/jp>